

令和2年倉敷市スポーツ章受章者(スポーツ振興功労者)

(規則第3条第2項第1号に該当)

(氏名については敬称略)

No.	氏名	推薦団体	主な功績
1	すずき みちえ 鈴木 美智恵	公益財団法人倉敷市 スポーツ振興協会 バレーボール部	昭和54年から(一財)倉敷市体育協会[現(公財)倉敷市スポーツ振興協会]バレーボール部、岡山県バレーボール協会の役員を務め大会運営に携わってきた。 平成12年から平成30年までは(公財)倉敷市スポーツ振興事業団[現(公財)倉敷市スポーツ振興協会]の役員を務め、市内のバレーボール競技の普及と振興に尽力した。 現在では、岡山県ママさんバレーボール連盟副会長、倉敷地区ママさんバレーボール連盟会長を務め、その功績には顕著なものがある。
2	むかい あきら 向井 彰	公益財団法人倉敷市 スポーツ振興協会 ソフトボール部	昭和54年、地域における子ども会のソフトボールの指導を機に、第1種公認審判員資格を取得。市内のソフトボール競技の振興に注力した。 平成20年より児島子ども会協議会会長を3期務め、現在は顧問として活動している。 自らも成人チームに参加し、地域における成人のスポーツ活動を推進している。児島地区ソフトボール振興会でも長年役員として貢献しており、その積極的で真摯な姿は他の模範となるものである。
3	たかお まさる 高尾 勝	公益財団法人倉敷市 スポーツ振興協会 剣道部	平成6年から児島剣道連盟会長を務め、長年にわたり少年指導や競技指導を通して、市内の剣道発展のために活躍した。 (一財)倉敷市体育協会[現(公財)倉敷市スポーツ振興協会]主催の行事においても指導するなど、剣道を通じた青少年の健全育成に貢献している。